

支所だより

各総合支所管内での身近な出来事や話題などを毎月お知らせするコーナーです。

東予総合支所

〒799-1394 周布349番地1 TEL0898-64-2700 FAX0898-65-4363

「脱、メタボラー！ レッツ ウォーキング〜!!」
《ウォーキングロード》

「メタボリック・シンドローム」…最近よく耳にする言葉ですが、日本語では代謝症候群と言われ、内臓脂肪の蓄積が主な要因で、糖や脂質の代謝が低下し、動脈硬化の発生率が高くなり、さまざまな病気を引き起こしやすくなります。そこで、メタボリックの解消に効果があることで注目されているのが「ウォーキング」です。

ウォーキングは、脂肪燃焼の効率が良い、高脂血症・動脈硬化の改善、持久力向上で体質改善の効果が図られるなど、気軽にできる健康法のひとつです。

今回で紹介するのは、東予地域でウォーキングの絶好の場所として知られている「ウォーキングロード」です。東予総合支所から北交流センター（三芳地区）までの市道橋

浜北条線の約3.5kmの幹線道路沿いにゆったりと整備された歩道で、平成13年にこの区間全線に照明設備が整備され、昼夜を通してウォーキングを楽しめるようになりました。今の時期、日が暮れて涼しくなってから仲間同士で楽しくウォーキングをしている人や、ウォーキングをしながらボランティアでゴミを拾っている人などの姿も見られます。ただ、気軽にできるウォーキングですが、無理はしない、水分を補給するなどの注意が必要です。1年を通してできるウォーキングは、四季の移り変わりを体で感じることができます。さあ、今日から楽しくウォーキングをはじめ、メタボラーからの脱却をめざしましょう。



丹原総合支所

〒791-0592 丹原町池田1733番地1 TEL0898-68-7300 FAX0898-68-4769

「これが ホントの青田刈り!!」
《心をつなぐ三世代交流事業》

夏休みも大詰めの日8月29日、丹原町池田の田んぼで、時ならぬ青稲の刈り取り風景が…!!

これは丹原小学校PTA池田支部（渡部克彦支部長）と池田老人クラブ員、そして丹原小4～6年生児童ら約30人による農業体験を通じた三世代交流でした。

本来なら10月中旬、黄金色に実った稲穂を収穫するはずなのに、やっと穂が出始めたばかりの青々とした稲を、なぜ今刈り取ってしまうのでしょうか？

同支部では昨年、地域に呼びかけて小正月行事「とうとうさん」を復活。伝統継承と世代間交流が目的でした。予想以上の好反響を得て、今年は材料の藁（わら）も農作業体験を兼ねてみんなで作ることになりました。稲が実

る前に刈り取るときれいな藁ができること聞き、地域の有志のご協力です約5アール分の稲苗を育ててきました。三世代で力を合わせて刈り取り、束ね、稲木に架けた青稲は、乾燥させた後倉庫で保管し、とうとうさん作りを待つのです。

渡部さんたちがめざすのは、みんなが自発的に参加でき、楽しみながら触れ合えるような活動。“この子どもの子ではなく、どの世代も顔が見え、名前のわかる人と人とのつながりを復活させたい”という今後の交流活動に、地域の人々からも大きな期待が寄せられています。



青田刈りの様子



復活したとうとうさん

小松総合支所

〒799-1198 小松町新屋敷甲496番地 TEL0898-72-2111 FAX0898-72-4048

伊予聖人近藤篤山顕彰事業「篤山先生とその教育」
(伊予聖人 近藤篤山④)

7月号から3回に渡って、伊予聖人・近藤篤山をご紹介してきましたが、地域の先人である篤山をもっと多くの人に知ってもらい、その教育精神などを学ぶことによって心豊かな教育文化を実感できるまちづくりをめざして、11月3日に伊予聖人近藤篤山顕彰事業「篤山先生とその教育」が開催されます。

メイン会場の小松公民館では、小松地域の小・中・高校4校の児童・生徒が篤山について学んだ成果の発表や、記念講演が行われるほか、篤山遺愛の椿「篤山椿」をはじめとする小松地域特有の椿を中心とした椿写真展もあわせて開催されます。その篤山椿の原木がある県指定史跡・近藤

篤山旧邸も当日のみ無料開放されますので、この機会にゆっくり見学してはいかがでしょうか。

また、小松温芳図書館郷土資料室では、篤山関係資料の展示や篤山の業績をパネルなどで紹介する特別展が11月1日から29日まで開催されます。今回、初公開される資料もあり、当時の文化や篤山の生活の一端が見られる特別展となっています。

文化の日には、歴史と文化のまちに伝わる伊予聖人・近藤篤山の教えや教育精神に触れて、これからの教育や文化について考えてみませんか。



近藤篤山旧邸内



篤山椿